

# 教授の本棚

本棚には、持ち主のひととなりが見詰まっているような気がします。身近なようで意外と知らない大阪大学の教授たちに本棚をとおして迫ってみようというのがこの企画です。熱く語られる研究の魅力と蔵書の数々をご堪能ください。

「教授の本棚」を拝見したいのですが……本棚ありませんね(あたりを見回して笑)

この教室カッコイイでしょ!日本のドコ探してもこんな教室無いよ。初めは壁から水を流すつもりだったんだけど、文科省の人に「お金いくら掛かるとしてんですか!」って断られた。本棚は置いてない(笑)  
本は多分すごく読む方。大阪に来る前から持ってた本は、必要な物3千冊ぐらいは持ってきてるけど今は主に電子書籍を読んでいる。Kindleのペーパーホワイトの英語版と日本語版の2冊とiPad miniとiPadを使ってる。今まで読んだ中では立原正秋が一番面白い。最近読んだ中では宮本輝が良かったな。

先生が学生におすすめする本は?

学生みんなには近代日本史を一番勉強してほしいと思うな。いま勧められるとすると、お茶の水女子大学の『国家の品格』を書いた藤原正彦さんが書いている『日本人の誇り』とか。理系の子は文系の本も、少なからず古代哲学から近代哲学まで、特に記号論もひっくりかえらせた所まで名だたる人たちが、ソシュールとか全部読んで欲しいと思う。そういう話に広く通じることが重要だね。話が分からないばかりに人から「あれが阪大卒だよ」なんて言われたら終わり、「さすが阪大卒だね」と言われたい。

学生にメッセージを

日本を代表する人物になって自分の発言がちゃんと通用するようになるには、20代は訓練のとき。たとえ迷うことがあっても、自分が今まで勉強してきたことを無駄にしたらもったいない。無駄にしないためにも、その時その時で自分がこれだと思ったことは懸命にやること。僕の場合は「真善美」のうち美で生きよう、デザインで生きようって決めた。僕は今やり残してるデザインを生まれ変わってでもやりたいて思ってる。だから、自分を信じなさい。人生何が起こるか分からないけど、自分の意思は自分しか割れない。僕だって車椅子になるなんて思ってたし、阪大で先生するなんてこれっぽっちも思ってた。

僕が若い人たちによく言うのは「死んだ友達を見つけなさい」ということ。それは本を読むこと。あの世に行っても会いたいと思う人の本を全部読んでやるんだ。道が分からなくなったらこの世に居ない人たちの言葉をいっぱい自分の中に取り入れて、それをもう一回自分の中で咀嚼して、他人がどうであれ自分はこの道行くんだ、って決めることだな。

「先生がデザインをやろうとした最初のきっかけは?」

僕は大学受験のとき医学部を目指して札幌医大受けたんだけど、滑って浪入した。予備校に通っても周りの皆が頭良いから、「このまま医学部目指して大丈夫かな」と迷ってた。その時またまた見た雑誌に、「横井忠則」というデザイナーの写真とイラストが載ってたんだ。色鉛筆で線引いてるだけなんだよ。その時はすごく楽な仕事に見えた(笑)。芸術にはもともと興味あったから、「この職業だ」と思っ、それから金沢美大に行っデザインを学んだ。

「日本から世界へデザインを発信している川崎先生ですが、日本と海外を比べて思うことはあるでしょうか?」

僕は阪大に来て菅原秀夫元総長に初めて会った時「どうして日本のデザインはこんなに悪いんだ」と言われた。初対面だよ!尻カッチンときてね、「あなたの方がくっついてる学

自分の意思は自分しか割れない。  
僕は美で生きよう、デザインで生きようって決めた。

## 川崎和男

大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授

1949年福井県生まれ。  
大阪大学大学院工学研究科教授・デザインディレクター・博士(医学)。  
名古屋市立大学名誉教授、多摩美術大学客員教授、金沢工業大学客員教授、  
一般社団法人公共ネットワーク機構理事、「危機管理デザイン賞」総合審査委員長  
伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、  
人工臓器、先端医療、海軍戦略、宇宙空間の装置化まで幅広くデザイン活動を行う。



「先生が悪いんだ」と言いました。デザインを専門学校でしか習えない日本ではデザイナーがレベルの低い職業になってる。ヨーロッパは博士号持つ人じゃないとデザイナーにはなれないし、中国や韓国、東南アジアでもデザイナーになる人はみんな学歴持ってる。そういう人しかなれないんだよ。僕は、そこが日本はすごく遅れている。  
僕はちゃんと大学で勉強して人工心臓や3D系のデザインを世界で最初に開発した。これから日本の後輩たちが世界をリードできるよ。うに、日本のデザイン界のトップでいようと思ってる。今でもトップだよ、だってみんな僕のこと畏れる(笑)。

「先生が現在おこなっているPeace-Keeping Designとはどのような経緯で?」  
POでアフリカの子ども達にワクチン注射を日本から配っても、実



際打ってるのは官僚の息子くらいなんだ。配られたほとんどは中身を捨てられて、麻薬を打つ論の注射器に利用される。これに腹が立つて、なんとかしないとイケないと思っ始めた。  
3・11に関しても、これからの工学部は放射能についてもっと積極的に考えないといけない。原子力というところでもない物を僕たち人類は持ってしまった。原発を完全に手放して再生エネルギーを進めようというのが今の流れだけど、きちんと原子力の危険さと向き合っけて、原子力と人類を上手く結びつけていくのが日本のモノ作りじゃないかな。

文・ニタ/理学部